

※送付させて頂いた申告書は新様式となっておりますが、記載項目に変更はございません。

記入例

令和8年度

償却資産申告書(償却資産課税台帳)

令和8年 1月 15日

真庭市長 殿

受付印

①【住所】

住所(又は納税通知送付先)及び電話番号を正確に記入してください。

②

【氏名】

法人の場合は、法人名称と代表者名を記入してください。
※共有で資産をお持ちの方は、18の備考欄に共有者の氏名又は法人名と住所又は所在地を記入してください。

③

【個人番号又は法人番号】

個人の方は12桁のマイナンバー(個人番号)を、法人にあっては13桁の法人番号を右詰で記入してください。償却資産を共有されている方は、記入不要です。

④

【事業種目】

事業の種目を具体的に記入してください。また、法人は資本金を記入してください。

⑤

【事業開始年月】

事業開始年月(法人設立年月)を記入してください。

⑥

【応答者】

申告内容について直接対応される方を記入してください。

⑦

【税理士等】

経理を委託している税理士等の氏名及び電話番号を記入してください。

⑧～⑭

該当する方を○で囲んでください。

⑮

【事業所等資産の所在地】

2以上の所在地がある場合には、それぞれの所在地を記入し、その主たる番号を○で囲んでください。

⑯

【借用資産】

該当する方を○で囲んでください。「有」の場合は、住所、所有者名を記入してください。

⑰

【事業所用家屋の所有区分】

該当する方を○で囲んでください。

15 市(区)町村内 における事業所 等資産の所在地	①本店 真庭市久世2927-2 ②支店 真庭市勝山53-1
16 借用資産 (有・無)	⑯ 自己所有・借家 貸主の名称等 岡山市内山下1-1 〇〇リース(株) Tel.086-〇〇〇-〇〇〇
17 事業所用家屋の所有区分	⑰ 自己所有・借家
18 備考(添付書類等)	⑱ 1. 全資産申告(新規・電算)・増減申告 2. 昨年中の申告資産に増減なし 3. 該当資産なし(必ず、4事業種目を記入して下さい) 4. 廃業・解散・転出等(年 月 日) 共有者:真庭 四郎 真庭市久世〇〇

1 住所	① おかやまけんまにわくせ 岡山県真庭市久世2927-2 (電話 0867-42-1114)
2 氏名	② まにわ たろう 真庭 太郎 (屋号 真庭商店)
3 個人番号又は法人番号	③
4 事業種目 (資本等の金額)	④ 土木工事業
5 事業開始年月	⑤ 平成10年 10 月
6 この申告に該当する者の氏名	⑥ 経理係 真庭次郎 (電話 0867-42-1114)
7 税理士等の氏名	⑦ 税務 花子 (電話 0867-42-1114)
8 短縮耐用年数の承認	⑧ 有・無
9 増加償却の届出	⑨ 有・無
10 非課税該当資産	⑩ 有・無
11 課税標準の特例	⑪ 有・無
12 特別償却又は圧縮記帳	⑫ 有・無
13 税務会計上の償却方法	⑬ 定率法・定額法
14 青色申告	⑭ 有・無

資産の種類	取得価額	償却額	償却後の価額	課税標準額
1 構築物	450000	500000	400000	400000
2 機械及び装置	7770000		300000	7800000
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品	880000	800000	800000	800000
7 合計	9100000	1300000	300000	9000000

資産の種類	評価額	決定価格	課税標準額
1 構築物			
2 機械及び装置			
3 船舶			
4 航空機			
5 車両及び運搬具			

電算処理により全資産申告を行う事業所は記入が必要です。

⑱

【備考】

該当するものを○で囲んでください。
1)添付書類があるときは、その名称
2)納税管理人を定めている場合 氏名及び住所
3)廃業等による資産の譲渡先など
・廃業・解散・転出(令和7年5月5日)
売却先名称 真庭商会
住所 真庭市〇〇番地 Tel. 〇〇-〇〇〇〇

【お願い】

前年中資産増減なし・該当資産なしの場合も、該当箇所を○で囲んで、ご提出ください。

CB18

前年までに申告された内容を印字しておりますので、前年中(令和7年1月2日～令和8年1月1日)において、売却・滅失・他市町村への移動等で減少した資産について申告してください。

提出用

令和8年度

種類別明細書（減少資産用）

所有者名
真庭 太郎

所有 者 コー ド		種 類 別 別 細 目 (減 少 資 産 用)		所 有 者 名		枚 の うち						
0 0 1 2 3 4 5 6 7 8				真庭 太郎		枚 日						
行 番 号	資 産 の 種 類	抹 消 コー ド ①	資 産 の 名 称 等	数 ② 量	取 得 年 月 ③ 年 号 年 月	取 得 価 額	耐 用 年 数 (新)	申 告 年 度	減 少 の 事 由 及 び 区 分		耐 用 年 数 (旧)	摘 要 ⑤ (再 付 事 由 コー ド)
									1 売 却 3 移 動	2 滅 失 4 そ の 他		
01		2001-1	ユアツシヨベル	1	4 12 3	8 550 000	5		1・2・3・4	1・2		《例 1》 オオガタヨウセツキを売却した 抹消コード2001-3を赤色 事由及び区分欄の該当番号も
02		2001-2	ハツデンキ	1	4 15 2	2 000 000	10		1・2・3・4	1・2		
03		2001-3	オオガタヨウセツキ	1	4 13 9	3 250 000	7		1・2・3・4	1・2		
04		種類合計		3		13 280 000			1・2・3・4	1・2		
05									1・2・3・4	1・2		《例 2》 エアコン5台のうち、取得価格 230,000円の2台を売却し 抹消コード6002-1を赤色で 赤色で3に訂正し、取得価額を の資産の価格に訂正し、減少の 欄の該当番号も赤色で囲む。
06		6001-1	カンパン	1	4 12 3	200 000	3		1・2・3・4	1・2		
07		6002-0	パソコン	1	4 13 9	350 000	4		1・2・3・4	1・2		
08		6002-1	エアコン	3 5	4 15 2	690 000 1 150 000	6		1・2・3・4	1・2		
09		種類合計		7		1 700 000			1・2・3・4	1・2		⑤ 【摘要】 当該資産が減少した事由につ いては売却先の名称、「滅失 滅失の理由を、「移動」にあた り入れ先の住所地等を「その他」 の減少の事由等を記入してくだ
10									1・2・3・4	1・2		
11									1・2・3・4	1・2		
12									1・2・3・4	1・2		
13									1・2・3・4	1・2		④ 【減少の事由及び区分】 1＝売却 資産を売り払ったことによ る減少 2＝滅失 売却と移動以外の減少 3＝移動 資産を真庭市以外へ移動さ せた場合 4＝その他 資産の名称、数量、取得 年月、耐用年数の修正、取得価格の一 部増額など 4に○をされた方は、摘 要欄へ理由を記入下さい。
14									1・2・3・4	1・2		
15									1・2・3・4	1・2		
16									1・2・3・4	1・2		
17									1・2・3・4	1・2		事由の4に○をされた方は全部又は 一部増額など 4に○をされた方は、摘 要欄へ理由を記入下さい。
18									1・2・3・4	1・2		
19									1・2・3・4	1・2		
20									1・2・3・4	1・2		
記入はすべて 赤色 でお願ひします。				合 計		10	15 500 000					

《例 1》
オオガタヨウセツキを売却した。
抹消コード2001-3を赤色で囲み、減少の事由及び区分欄の該当番号も赤色で囲む。

《例 2》
エアコン5台のうち、取得価格230,000円の2台を売却した。
抹消コード6002-1を赤色で囲み、数量を赤色で3に訂正し、取得価額を減少後の残りの資産の価格に訂正し、減少の事由及び区分欄の該当番号も赤色で囲む。

【摘要】
当該資産が減少した事由について「売却」にあつては売却先の名称、「滅失」にあつては滅失の理由を、「移動」にあつてはその受け入れ先の住所地等を「その他」にあつてはその減少の事由等を記入してください。

【減少の事由及び区分】
1＝売却 資産を売り払ったことによる減少
2＝滅失 売却と移動以外の減少
3＝移動 資産を真庭市以外へ移動させた場合
4＝その他 資産の名称、数量、取得年月、耐用年数の修正、取得価格の一部増額など 4に○をされた方は、摘要欄へ理由を記入下さい。
事由の4に○をされた方は全部又は一部の記入は必要ありません。

【数量】
一部減少の場合は、必ず減少後の数量に訂正してください。

【取得価額】
一部減少の場合は、必ず減少後の残りの資産の価格に訂正して下さい。

【抹消コード】
減少した資産の番号を赤○で囲んでください。

記入はすべて **赤色** をお願いします。